

「코리아・インターナショナル・ピースフォーラム (Korea International Peace Forum: KIPF)の提案

韓国進歩連帯、常任代表
ハン・チュンモク(韓忠穆)

韓国と日本の平和団体と人々が毎年、3.1節と8.15を契機に、朝鮮半島と東アジアの平和実現のために交流と連帯をスタートさせて、あっという間に20年が過ぎようとしています。

この間、米国の平和運動団体との交流もあり、朝鮮戦争時に米軍による住民虐殺の国際真相調査活動とKorea反戦平和運動を共同で進めて、既に15年が経ちました。

2013年に停戦協定60周年で行ったソウルの国際平和大会には、海外の平和活動家約70人が参加しました。この時は、日米韓だけでなく、中国やカナダからも代表が駆けつけてくれました。韓国の約40の都市と世界の25の都市など、約70の都市で大衆的な国際平和運動を展開しました。その後、ロシア、ヨーロッパ、フィリピン、中東など、朝鮮半島の平和を実現するための国際連帯活動の輪は、さらに広がっています。

多くの人々が毎年1～2回の討論会や行事だけでは国際的に重要となっている朝鮮半島の平和問題を深めるのには限界があることに同意し、2013年727国際平和大会で「코리아平和のための国際ネットワーク」を作ろうということになりました。これはKoreaの平和実現が、私たち民族の団結と共に、国際的協調が切実だという反証でもあります。

しかし、韓国内で内乱陰謀でっちあげ事件と進歩政党の解散、続いて労働運動への弾圧などの公安弾圧、「親北勢力バッシング」などが激しくなり、国際連帯運動を力強く行えなかったことも事実でしょう。

今日の討論会で多くの参加者が発言されたように、サード配備問題はKorea問題を超えて、米国と中国、ロシアの勢力争いに広がっています。また、日本は朝鮮半島で繰り広げられる軍事的対立を利用しながら、軍事大国化の道を順調に歩んでいるかのようです。

韓国の様々な政治勢力もサード配備問題、北の核題、平和協定の締結と南北交渉や対決など、朝鮮半島の当面する懸案をめぐる泥仕合を行い、2017年の政権交替時に、自分たちに有利になるよう政治闘争が激しくなっています。

このような時期に、国際平和運動勢力の連帯と共同闘争は、Koreaの恒久的な平和を実現するために決定的な力となるでしょう。以前にベトナム戦争を終息させ平和を実現することが出来たのも、反戦平和の国際連帯の力が大きく作用したためなのではないでしょうか。

国同士の熾烈な政治軍事的対決を民間の平和連帯運動が緩和させ、交渉と対話に向かわせたのも一度や二度ではなかったはずで

今こそ、これまで進めてきたKorea/東アジア国際平和連帯運動の成果をさらに発展させ、Koreaの恒久的な平和実現の方向や方法について日常的に研究、論議し、その政策と理論を作り上げ、国連のような国際機構や当該国に示したり、様々な平和キャンペーンなどを行ったりして、国際的圧力を加えていく大衆運動をも展開していかなければなりません。

よって、ここに「**코리아・インターナショナル・ピースフォーラム‘Korea International Peace Forum (KIPF)’**」の結成を提案するものです。

KIPFは次のような活動内容と構成、運営原則でスタートしつつ、その後の論議と意思疎通を通じて、その地位と役割をさらに強化していくことが望まれます。

■ **Korea**の恒久的な平和実現を中心に、東アジアの平和に寄与する様々な国際連帯活動を推進する。

- 毎年727/815を前後し、**코리아**国際平和大会と討論会、**코리아**国際平和キャンペーンを行う。
- 各国で提起される様々な平和運動とキャンペーンについて、共同で展開する。
- 労働者、農民、青年学生、女性、学術と専門家、宗教人、政治家、文化芸術家、言論人など、様々な対象が平和運動の主体となるよう連携し、共同の活動を発掘、推進する。
- 国連と6者会談など、国際舞台でKIPFの立場を伝達する。

<米韓合同軍事演習反対、サード反対、平和協定の締結、朝鮮半島と世界の非核化推進など>

■ **組織の形態と対象**

- 名誉代表：チョムスキー、ミシェル・チョンドフスキー、ラムゼイ・クラーク、イ・チャンボク、オ・ジョンヨルなど、各国で尊敬される元老平和活動家で構成する。
- 共同代表：重要な活動計画、緊急な懸案時に論議し決定する最高意思決定機構。各国の主な平和運動団体で推薦する代表と、この活動を推進するのに役立つ平和人士により構成する。
- 実行委員会：各国で若干名の執行幹部を推薦して実行委員会を構成し、具体的な活動に関する論議や執行を担当する。
- 事務局はソウルに置きつつ、海外に連絡事務所を設置できるものとする。

■ **運営の原則**

- 全ての活動は、互いに論議し、意思疎通をはかって共同で決定しつつも、各国の状況と実情を考慮し、柔軟な方法で行う。
- 財政は、活動計画の中で各国の状況と実情を踏まえ、調整して執り行う。

朝鮮半島は南と北に分断されて71年にもなります！ 300万人が殺戮され、犠牲になった戦争を止めようと[休戦]協定を締結して、もはや60年以上経っています。しかし、**Korea**の戦争は未だに終わっていません。

真の平和は、決して強大国が与えてくれるものではありません。

わが民族の団結した力で平和統一運動を進めることが切実に求められています。同時に、国際平和運動の連帯も切実です。**Korea**の平和は、国際的な平和運動が世界中に広がったとき可能となるでしょう。

日本と米国、中国をはじめ、全世界の平和活動家に訴えます。

Koreaの恒久的な平和と統一運動と共に歩んでください！

Koreaの恒久的な平和実現のための国際的な平和連帯運動に、積極的に賛同してください。

ありがとうございました。